



葉山芝崎海岸

美しい色をしたウミウシやヒトデ、数々の巻き貝、それにあいきょうのあるカニやエビ、タコたち…。葉山の海は豊富な岩礁や砂浜に恵まれ、小さな海の生き物たちの宝庫です。

特に春先から初夏の今頃にかけては、生き物の動きが活発で、潮がよく引く大潮の磯辺では、たくさんのお珍しい生き物に出合えます。水もぬるみ、磯遊び（観察）には最適な季節。潮の香りがいっぱいの磯辺で、小さな生き物たちの世界をのぞいてみませんか。

三浦半島は、都市の近郊にありながら、自然の海岸がよく残っている地域です。海岸の地形も岩礁や砂浜、干潟など変化に富み、さらに沿岸へ及ぶ黒潮暖流の影響もあって、海の生き物たちにとっては大変すみやすい環境にあります。

とりわけ葉山周辺の海岸の磯は健全で、多種多様な生き物が生息し、観察などの磯遊びにはうってつけの場所が



数多くあります。

## 特集 磯遊びを楽しもう！

### 「芝崎ナチュラールリザーブ」は

### 「小さな生き物たちの宝庫」

（写真提供 葉山しおさい博物館 ガイドブックより）

## 芝崎ナチュラルリザーブ

中でも「生き物たちの宝庫」として知られているのが、芝崎海岸です。この一帯は岩礁を中心とした磯で、大小の石がゴロゴロしている転石地帯や砂れき地帯などが複雑に入り交じり、ウミウシをはじめ、カニやエビ、貝、ヒトデなど多彩な生き物が生息しています。

ちなみに、ここで見られるのは貝類が三〇〇種、魚類が二五〇種、カニ類が七〇種、それに海藻類が一〇〇種以上にもほり、海の生き物たちの種類の多さでは、三浦半島の中でも群を抜いています。

生物学者昭和天皇も、生前に度々この地を調査・研究に訪れ、ウミウシや



岩礁地帯



転石地帯

ホヤ類などの新種を数多く発見されました。中でも代表的なものは、体長が一センチ前後の愛らしい「サメジマトメウミウシ」です。発見場所である芝崎の先端にある岩礁の鯨島にちなみ、こう命名されました。

このように芝崎海岸とその周辺海域には、海の生き物たちが数多く調和しています。このことから、町では平成七年にこの一帯を「芝崎海岸とその周辺海域」として町の天然記念物に指定。自然環境の保全と生き物の保護に努めています。また、ここを「芝崎ナチュラルリザーブ」と名づけて、自然観察会など海に親しんでもらう場として位置づけています。

## 海の生き物たち

芝崎ナチュラルリザーブの代表的な生き物を紹介しましょう。

まずはカニやエビ、ヤドカリなどの甲殻類の仲間たち。潮が引いた磯で、転石を起こすとヒライソガニやオウギガニがよく見つかります。磯でパチン、パチンとハサミを鳴らしているのはテッポウエビ。ヤドカリもちょこちょこ走り回っています。

貝類では、小ささまざまな巻き貝や二枚貝のほかウミウシも、数多く生息しています。アオウミウシなど色鮮やかなものは、見る人を引きつけます。

このほかヒトデやイソギンチャク、クラゲ、ナマコ、ホヤ、ウニ、タコ、フジツボ、カイメンなどが見られます。

## 危険な生き物

磯には触ると危険な生き物たちもいます。

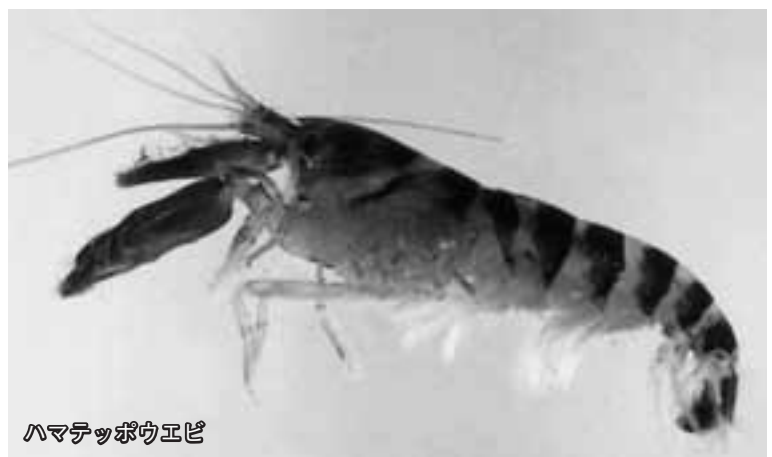
例えば、体長五センチ前後のハオコゼ。小さい魚ですが、背びれに多数の毒のトゲがあり、刺されると激しい痛み、傷口が腫れ上がります。岩陰にひそんでいるゴンズイも、毒のトゲを持つるので危険です。

クラゲの仲間では、「電気クラゲ」と呼ばれるカツオノエボシやアンドンクラゲなどがいて刺されると、ミミズ腫

れになり、激しく痛みます。

また、体長の十センチ程度の小型のヒヨウモンダコは咬まれると命をおとすことがあります。ウニの仲間のガンガゼのトゲがささると激痛に襲われます。

磯でたわむれているのは、安全な生き物ばかりではありません。磯遊び（観察）を楽しむ際は、これら有毒な生き物に十分注意しましょう。



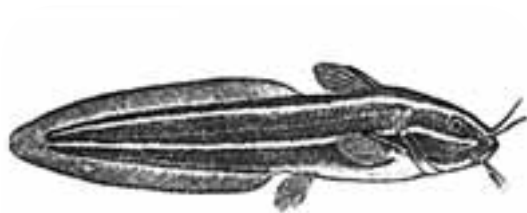
ハマトゥッポウエビ

## 危険な生き物

ハオコゼ



ゴンズイ



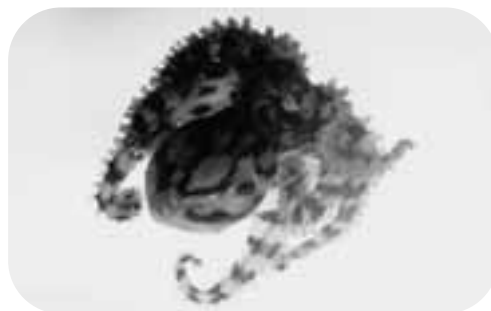
### 応急処置

傷口を真水でよく洗い、やけどをしない程度の湯につけるか、アンモニア水をぬると、痛みは一時的にやわらぐ。重傷の時は病院で手当てが必要。

アンドンクラゲ



ヒョウモンダコ



### 応急処置

咬まれた箇所を絞ったり、切開して毒を出す。早急に病院に行き、フグ毒による手当てを受けることが第一。

カツオノエボシ



### 応急処置

カツオノエボシに刺されたらすぐに水で洗い流し（手で触れると刺胞が刺さり被害は広がる）、抗ヒスタミン剤をぬる。痛みには鎮痛剤を服用。アンドンクラゲには酢が有効。

ガンガゼ



### 応急処置

刺さった棘をすぐ洗い流す。湯につけると多少痛みはやわらぐ。棘が体内に残った場合は病院で処置を受ける。



## 磯遊び(観察)の楽しみ方

磯遊び(観察)に出かけ、たくさん生き物との出会いを楽しむためには、それなりのコツも必要です。その一つが観察の時期です。磯の生き物の観察に最も適しているのは、潮の引きが最大になる大潮の時です。新聞に掲載されている「潮時表」などで事前に大潮の時間帯を調べ、その1時間くらい前には現地に着くようにすると、潮の引き始めからじつくりと観察が楽しめます。大潮ばかりでなく、中潮でも観察は十分に可能です。もう一つは、観察の方法です。観察は一カ所に腰を据えて、じつくりと行うことでたくさんの生き物たちに出合えます。また、じつと耳を澄ましてみてください。パチン、パチンとテツポウエビがハサミを鳴らす音や貝が体を引っ込める音など、小さな生き物たちの息づかいが聞こえ興味が尽きません。



※なお、六月から七月初めにかけての観察に適した日時は次のとおりです。(東京芝浦標準、葉山付近は十分ほど早い)

月 日	潮	干潮の時間
6月3日	(大潮)	午前10時54分
4日	(大潮)	午前11時39分
5日	(中潮)	午後12時26分
6日	(中潮)	午後1時14分
16日	(大潮)	午前10時05分
17日	(大潮)	午前10時40分
18日	(大潮)	午前11時16分
19日	(大潮)	午前11時52分
20日	(中潮)	午後12時27分
7月2日	(大潮)	午前10時44分
3日	(大潮)	午前11時34分
4日	(大潮)	午前12時22分

### 服装は

潮の引いた磯は滑りやすいので、ビーチサンダルは危険、履きなれた運動靴がよい。けがの防止に必ず手袋を。また真夏は帽子を忘れずに。バケツ、透明なポリ容器などのほか、メモ帳やピンセット、ルーペ、カメラなどを持参すると便利です。

### 磯遊びのルール

芝崎ナチュラルリザーブは、葉山のかけがえのない財産です。次のルールを守りましょう。

- ◎動物・植物・岩石などは採集しない。
- ◎石(転石)を動かしたら、必ず元通りに。
- ◎観察後、生き物を必ず元いた場所に戻す。
- ◎モリ・網・釣り具などの採集用具を持ち込まない。

- ◎ビーチパラソルやサマーベッドなどの利用はお断り。
  - ◎キャンプはしない。
  - ◎バーベキューや焚き火はしない。
- ※町の天然記念物指定の芝崎ナチュラルリザーブ以外の海域でも、ほとんどの所で漁業者の「共同漁業権」が設定されています。アワビやサザエ、トコブシ、バテイラなどの貝類や海藻類の採取はやめましょう。これらの行為は法律で禁止されています。

